

第六部 内定者の官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の一問一答形式の質問も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングに是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで H28 年度官庁訪問における経験に基づき内定者の視点から語られたもの であり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は 以下と異なる可能性があります。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の簡単な流れ －

官庁訪問前

環境省 HP の訪問予約フォームに希望日を記入した後送信。

面接シートも HP からダウンロードし、記入しておきました。

↓

官庁訪問当日

指定された時間・会場に集合。午後にかけて、複数回の面接を行いました。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の面接 －

官庁訪問の面接は 1 日かけて行われました。年によりますが、私たちの場合、面接回数は両手が必要なくらいでした。3 対 1 の面接も行われますが、そのほとんどは面接官と 1 対 1 での会話でした。1 回の面接は平均して 30 分、内容はエントリーシートに沿っていることが多かったです。面接は面接官の仕事との兼ね合いもあり、待ち時間は 1 時間以上になることもありました。その間は、他の訪問者や官庁訪問担当の方と雑談をしたり、資料やノートを読んだりと自由にできました。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の服装 －

官庁訪問は正式な採用選考であるため、リクルートスーツが一般的です。しかし、官庁訪問はクールビズ期間である夏に行われるため、ノージャケット・ノーネクタイの軽装で問題ありませんし、面接官も理解しているため、よほど乱れた服装でなければ軽装をとがめられることはありません。実際、ネクタイを一応持ってきたという人はいましたが、つけることはありませんでした。

一 環境省の官庁訪問（一般職試験）の体験記(質問形式) 一

-----情報を手に入れづらい……官庁訪問って実際どんな感じ?-----

【官庁訪問前に準備した事は何ですか？】

- ・ ひたすら面接対策をしました。志望理由、自己PR、学生生活で力を入れたこと、最近の気になるニュースについては掘り下げられても動じないように準備しました。自分を取り組みたい仕事や、民間企業ではなく環境省である理由についても考え直しました。取り組んでみたいことを word にひたすら打ち込み、全体で矛盾が生じないようにすることは意識していました。
- ・ 自分の行きたいと思った局・課のことを詳しく調べました。その上で、面接に向けた志望動機とすり合わせ、やりたいことを固めました。また他の面接試験と同様に、あらかじめエピソードなどをパッとと言えるように対策を行いました。

【官庁訪問全体の印象はいかがでしたか？】

- ・ 面接官の方は仕事の合間に面接をしてくださるため、しっかりやらなくてはいけないと思いました。一方、控室では若手職員の方や他の訪問者と話すことができ、リラックスできる場でした。この ON と OFF の切り替えは重要だと思いました。
- ・ 一対一の面談では、国でお仕事をなさっている方々と直接対話できるとともに、環境省に対して持っていたふわっとしたイメージが強固になりました。また、業務や職場の雰囲気を知ることができたので、とても貴重な場だと思います。

【官庁訪問全体で失敗した/苦労した点は何ですか？】

- ・ 最初の面接がとても緊張しました。正直、かみかみで上手な日本語で話していなかったと思いますが、それでも面接官の方は耳を傾けて聞いてくださいました。失敗だと思わずに前向きに面接に臨むと良いかなと思います。
- ・ 挙げればキリがないですが、強いて言うなら、道に迷って集合時間ギリギリで会場に着いたことと、緊張しいということもあって、官庁訪問の最後の面接で雰囲気に飲まれて受け答えがしどろもどろになってしまったこと、ですね……。

【環境省で印象に残ったやりとりはありましたか？】

- ・ 「環境政策は何のためにやっているの？」と質問された時のやりとりが印象に残っています。個人的には自然のために行う環境政策が理想だという思いはありましたが、私の中で実際は人間のために行っていると結論付けていました。自分の考えを述べたら、面接官の方も同じような意見だと言ってくださり、さらに面接官の方の経験など付け加えたお話を聞くことができました。
- ・ 正直、官庁訪問中は緊張していたのであまり覚えていませんが、待機時の職員の方との雑談中に、そのとき人気のあった映画の話題で盛り上がったことが印象に残っています。

【環境省の面接中に困った質問はありましたか？】

- ・ 「A：環境問題に興味がなく環境事業に否定的な人と、B：環境を優先したい気持ちはあるけどある環境事業には否定的な人、どちらを説得しますか？」という質問がありました。私はAと答えましたが、どちらを選ぶにせよ自分が選んだ根拠をうまく伝えられるかがポイントだと感じました。
- ・ 受験したが落ちてしまった他職種の公務員試験に関して、「なんで落ちたと思う？」とストレートにたずねられたのは、相当驚きました。全く想定してない質問でしたが、冷静に自己分析して返せたので事なきをえました。

【環境省の訪問前後のイメージに変化はありましたか？】

- ・ 私（ラビット）は説明会の回数も重ねていたのですが、良い意味で変化はありませんでした。説明会でも官庁訪問でも、職員の方の人の良さや環境問題への意識の高さを感じました。これはパンフレットだけでは感じ取れないことだと思うので、まずは説明会に参加して感じ取っていただければと思います。
- ・ 省になってから比較的時間が経っておらず、また、人員の少ない組織であるため、ある程度の風通しの良さというものを期待していましたが、イメージどおりの組織でした。個人単位で見ても、内々定をいただいた後に何度か職員の方と会話する機会がありましたが、フランクな人が多い印象を受けました。